

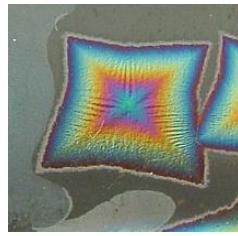
虹色に見える多角形結晶釉の陶磁器

新虹彩結晶釉薬の開発

技術分野分類 4803 : 無機工学材料

技術キーワード C : セラミックス

産業分類 E-21 : 窯業・土石製品製造業

内 容	概要	曜変天目に見られるような釉薬中の結晶が虹色に見える新しい釉薬を開発した。本結晶釉薬は、釉薬にタンクステン酸化合物を含有し、析出される結晶が多角形の形状を有するものである。結晶の大きさは焼成条件などにより数mm～30mm程度まで変えることができる。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来の結晶釉薬は析出される結晶の形状が円状であり、そのサイズも最大10mm程度の結晶であるが、本結晶釉薬は多角形でサイズも大きく、虹色に見えることが特徴である。
	本技術の有用性	釉薬中の成分を選択することで、様々な色合いの釉薬が可能である。また、従来の焼成炉を使用でき、設備投資が必要ない。
関連情報 (図・表・写真等)		  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 新虹彩結晶釉による茶碗とその結晶 </div>
適用可能製品		陶磁器製品
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	尾石 友弘 岐阜県セラミックス研究所 技術支援部 依頼試験業務嘱託員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県セラミックス研究所 技術支援部 0572-22-5381 / 0572-25-1163 info@ceram.rd.pref.gifu.jp

■知的財産 特許第4225426号

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年1月20日